

令和5年第3回定例会一般質問通告事項

	<p>松原正侍議員（市民連合）</p>	<p>質問方式：一括質問方式</p>
<p>6 月 21 日</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 平谷市長は今回の広島サミットについてどの様な感想を持っているか</p> <p>(2) 尾道市が2市3町で合併した直後の2007年4月の市長選挙で初当選した平谷市長はこれまでの4期16年間で、どのようなことに意を用いて市政運営をしてきたか。その結果や現状をどのように認識しているか</p> <p>(3) 国が、合併した新しい市町の一体感の醸成のために創設した「合併特例債」という財政的な支援を活用し、尾道市も様々な事業を実施してきたなかで、次の3点についてお聞きする</p> <p>ア 合併特例債の活用限度額はどの程度で、これまでどのような事業に、いくら活用し、残りはどのくらいか</p> <p>イ 今後、合併特例債を活用した大きな事業はあるか</p> <p>ウ あればどのような事業で、どの程度の事業費となるのか</p> <p>(4) 平谷市長は、東日本大震災と原子力発電所の事故について、どの様な教訓を学び、市政運営に活かしてきたか</p> <p>(5) これまでの新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、今後また起こりうる市民の健康にかかわる危機に備え、市長はどのような市政運営をされるつもりか</p> <p>(6) 当選を果たして市長となった現在、今期の4年間で一番力を注ぎたいことはどのようなことか</p> <p>2 教育の一環としての学校給食について</p> <p>(1) 「尾道市学校給食施設整備計画」の策定から現在までの進捗状況と当初の計画とは異なる点をお聞きする</p> <p>(2) 中学校給食の実施について、因島南中学校への給食配送は、2022年度の3学期中に開始する予定であったが、計画通りに実施できたか</p> <p>(3) 因島南中学校の給食を、因島南小学校の給食調理場から配送する場合に、リフトアップ機能の車両を用意することで、プラットホームを整備しなかったとのことだが、継続するリース料と1回だけの工事費の費用対効果などの検証について、お聞きする</p> <p>(4) これから順次、始められる中学校給食においても「リフトアップ機能付きの運搬車両」で実施する方針であるのか</p>	

<p>6 月 21 日</p>	<p>(5) 因北小学校と中学校、重井小学校と中学校、そして特別支援学校しまなみ分校の給食を提供するための施設として因北小学校のグラウンドの一角に因北小学校給食調理場を建設する計画で、昨年度、地質調査が完了していると思うが、その結果と今年度の取り組みについてお聞きする</p> <p>(6) 地元産のお米を、おいしく炊いて、温かいご飯を子どもたちに食べてもらうためにも、全ての小学校と中学校に学級ごとの個別炊飯器による炊飯設備を整備してはどうか</p> <p>(7) 学校給食調理の業務で日々活用している厨房機器の様式などがバラバラで、調理方法が統一できない状況があることについて、次の3点についてお聞きする</p> <p>ア この問題について実態の把握はしているか</p> <p>イ 教育委員会では、どの様な認識を持っているか</p> <p>ウ 各給食調理場で統一的な調理が出来るように、新しい厨房機器の購入時や更新時には、機器の基準を定める必要があると考えるが、どうか</p>
-----------------------------	--